

第5回羽田発着枠配分基準検討小委員会 議事概要

日 時 :平成24年11月19日(月)18時~20時

場 所 :3号館11階特別会議室

主なご意見:

○多様な輸送網の形成について

- ・今後も離島路線は航空会社の内部補助で維持すべきということではなく、公的支援も考える必要。
- ・幹線で競争が激化する中、地方路線の維持を羽田発着枠の内部補助で考えるのは厳しい状況にあり、新しい仕組みを考える必要。

○航空の安全の確保について

- ・将来的には、重大な安全上の問題を起こした会社は大きく減点されるような仕組みも必要。

○破綻事業者の取扱について

- ・破綻の影響について期間を控除するという考え方は適切。
- ・項目によって破綻の影響があるものとなないものがあり、経営指標はともかく、安全管理への努力やネットワークを維持してきたことは評価すべきではないか。
- ・破綻の影響については、ネットワークの維持も含め大部分の項目に出てきてしまうが、安全の確保と行政処分は別扱いではないか。
- ・破綻法制の活用に対する disincentive にならないように留意が必要。

○市場メカニズムについて

- ・厳密な形でのオークションが適切かは別にして、オークションの課題の解決方策の検討を早急にできるようにすべき。また、日本としてできるかという視点が重要。
- ・政策コンテストで提案を評価する際は、需要創造、需要平準化の取組を評価できるとよい。
- ・透明性という点が、政策コンテストのメリットの一つ。

○評価方法・評価項目等の見直し

- ・航空会社の経営に悪影響を及ぼさないためにも、今回の考え方を長く活用することが重要。
- ・ウェイト付けはどの部分を重視すべきか。ネットワークを重視すべきではないか。
- ・今回の議論を踏まえれば、ネットワークだけではなく、競争の促進を含めた利用者利便の項目全体を従来通り倍点とすべき。
- ・多頻度小型化については、旅行商品の組み立ての観点からも取りまとめ案の考え方が適切。